

平成30年度 事務事業マネジメントシート

事業名	消防ポンプ自動車整備事業			会計	款	項	目	大	小
				01	09	01	03	05	75
政策	02	2節	生活の豊かさを実感できる流山（生活環境の整備）	主管課	消防防災課				
施策	2-3	自然災害・都市災害への備えと予防		主管課長	笠原 圭史				

I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	消防ポンプ自動車	意図	老朽化が著しい車両を、最新性能を具備した新型車両に更新し消防力の強化を図り市民の安心安全に寄与する。
事業内容	平成14年度に購入した東消防署消防ポンプ自動車を、流山市車両更新計画に基づき更新整備するもの。			
事業開始から現在までの状況変化	多種多様化する各種災害等に対応するため、車両の更新整備時に最新の消防資機材等の整備充実を図る。			

II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成28年度	平成29年度	平成30年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）	
	①	火災件数	18	29	21	件	↓↓↓	年度別火災出動件数
②								
③								
④								
⑤								
⑥								
指標で表すことができない定性的な成果							目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況） 狭隘道路に対応するため、CD-II型からCD-I型へと車両を変更し機動力の向上を図る。 又、四輪駆動車とし千葉県消防広域応援隊に登録した。	
事務事業のコスト		平成28年度	平成29年度	平成30年度				
事務事業の総コスト(a=b+c)				52,502,511				
事業費(b)(円)				49,206,511				
うち一般財源				4,810,511				
職員給与費(c)(円)				3,296,000				
人役・職員(人)				0.50				
人役・再任用(人)								
人役・臨職(人)								
人役・嘱託(人)								
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）								
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）								

III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	A 必要性が高まると考えられる	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	I 拡 充 （事業を拡大して継続すべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

①H30当初の改善計画(Plan)	車両の小型化を図り、機動力の向上を図る。	③取組における課題(Check)	近年、変化する多種多様な災害形態の事前把握が困難な状況である。
②H30に実施した取組(Do)	車両を四輪駆動車とし走破性に優れた車両とし、様々な状況下で発生する災害防除活動を活用できる環境を作った。	④課題に対する今後(H31~)の改善計画(Action)	最新の車両、最新の消防資機材の活用により対応していく。